

ダイワ・ファンド・シリーズ

ダイワ新興国債券ファンド(通貨選択型)－通貨タワー
(日本円・コース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
当ファンドは、特化型運用を行います。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての新興国債券^(注)に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。
(注)「新興国債券」とは、新興国の政府、政府関係機関、州、その他の地方公共団体が発行する債券をいいます。以下同じです。

ファンドの特色

1. 米ドル建ての新興国債券に投資します。
 - ◆JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス^(*)を参考に運用を行います。
* J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
 - ◆国別配分および年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮します。
 - ◆投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮します。
2. 米ドル建て資産に対して、各コース^(注)は米ドル売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。
(注) 米ドル・コースを除きます。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース	為替取引を行いません。	なし
豪ドル・コース	米ドル売り/豪ドル買い	豪ドル
NZドル・コース	米ドル売り/ニュージーランド・ドル買い	ニュージーランド・ドル
南アフリカ・ランド・コース	米ドル売り/南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド
日本円・コース	米ドル売り/日本円買い	日本円
トルコ・リラ・コース	米ドル売り/トルコ・リラ買い	トルコ・リラ
米ドル建 ブラジル・レアル・ヘッジコース	米ドル売り/ブラジル・レアル買い	ブラジル・レアル
米ドル建 豪ドル・ヘッジコース	米ドル売り/豪ドル買い	豪ドル

- 為替取引を実行するために、外国為替予約取引、NDF 取引等を行うことができます。
- 為替取引は、純資産総額に追加設定予定額を追加し、買戻予定額を控除した上で、為替取引対象コースの純資産総額程度のエクスポージャーを上限とします。

◆ファンドの名称は「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド(通貨選択型)－通貨タワー米ドル・コース、豪ドル・コース、NZ ドル・コース、南アフリカ・ランド・コース、日本円・コース、トルコ・リラ・コース、米ドル建 ブラジル・レアル・ヘッジコース、米ドル建 豪ドル・ヘッジコース」ですが、「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド(通貨選択型)－通貨タワー(米ドル、豪ドル、NZドル、南アフリカ・ランド、日本円、トルコ・リラ)(米ドル建 ブラジル・レアル・ヘッジコース、米ドル建 豪ドル・ヘッジコース)」と表記することがあります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスクについては次頁をご覧ください。



〈販売会社〉

商 号 等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

設定は…

ダイワ・アセット・マネジメント・
サービスズ・リミテッド(ケイマン)

運用は…

ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和アセットマネジメント フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・ファンド・シリーズ

ダイワ新興国債券ファンド(通貨選択型)－通貨タワー
(日本円・コース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

●ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「債券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（流動性リスク等）」

※取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行う場合、コストは、需給や規制等の影響により、金利差から予想される水準と大きく異なることがあります。

※為替取引により、米ドルの為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

■日本証券業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（分散投資規制）では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。

- ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
- ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合

■当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

■当ファンドは、日本証券業協会の規則（関連するガイドラインを含みます。）にいう「特化型」に分類されます。一の者に対するエクスポージャー（同規則に定める「株式等エクスポージャー」、「債券等エクスポージャー」および「デリバティブ等エクスポージャー」のそれぞれを指します。）は純資産の35%以内とすることとします。

ファンドの費用については次頁をご覧ください。

ダイワ・ファンド・シリーズ
ダイワ新興国債券ファンド(通貨選択型)－通貨タワー－
(日本円・コース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入口数に応じて、次に掲げる率を乗じて得た額とします。 ◆ 米ドル・コース、豪ドル・コース、NZ ドル・コース、南アフリカ・ランド・コース、トルコ・リラ・コース、米ドル建 ブラジル・リアル・ヘッジコース、米ドル建 豪ドル・ヘッジコースの場合	
	購入時の申込口数	手数料率
	5,000 口未満	購入金額の 3.30% (税抜 3.00%)
	5,000 口以上 5 万口未満	購入金額の 1.65% (税抜 1.50%)
	5 万口以上 10 万口未満	購入金額の 1.10% (税抜 1.00%)
	10 万口以上	購入金額の 0.55% (税抜 0.50%)
	◆ 日本円・コースの場合	
	購入時の申込口数	手数料率
	5 万口未満	購入金額の 2.20% (税抜 2.00%)
	5 万口以上 50 万口未満	購入金額の 1.65% (税抜 1.50%)
50 万口以上 100 万口未満	購入金額の 1.10% (税抜 1.00%)	
100 万口以上	購入金額の 0.55% (税抜 0.50%)	
購入時手数料は、購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社に支払われます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。		
換金（買戻し）手数料	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
管理報酬等	ファンドの資産から支払われる総報酬は、純資産総額の年率 1.34%程度および年間 67,200 米ドルです。 （注）受託報酬および管理事務代行報酬ならびに資産保管報酬に最低報酬金額が設定されているため、各コースの純資産総額の合計額によっては、年率 1.34%程度を上回ることがあります。	
その他の費用・手数料	ファンドは、弁護士報酬、監査人報酬等の直接の運営のコストおよび費用を負担する場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、ファンドが負担することにより、投資者の皆様が間接的にご負担いただくことになります。これらの費用については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※これらの詳細につきましては、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。

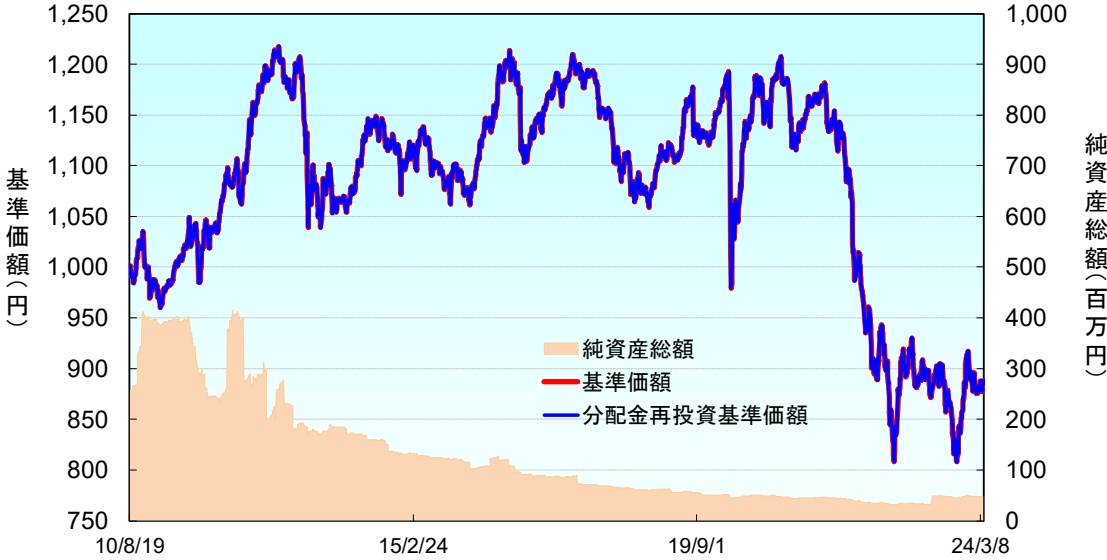
運用概況

日本円・コース

形態 = ケイマン籍オープン・エンド契約型外国投資信託/追加型
信託期間 = 2010年8月19日から2025年11月30日まで
決算日 = 毎年11月30日
収益分配 = ファンドは、現在、収益の分配を行わない方針です。

基準価額・純資産の推移

当初設定日(2010/8/19) ~ 2024/3/28



純資産総額	48 百万円
基準価額	888円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+1.0 %
3カ月間	-3.0 %
6カ月間	+6.0 %
1年間	-0.9 %
3年間	-20.4 %
5年間	-20.6 %
設定来	-11.2 %

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、管理報酬等は控除しています。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に選った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
※ファンドは、現在、収益の分配を行わない方針です。ただし、管理会社と受託会社が分配方針を変更する場合はその限りではありません。

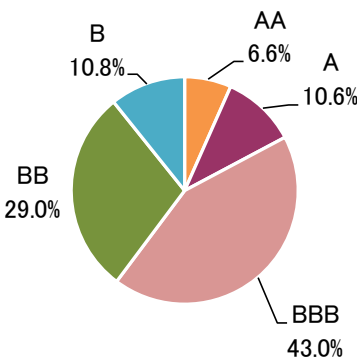
債券ポートフォリオの概況

(3月末時点)

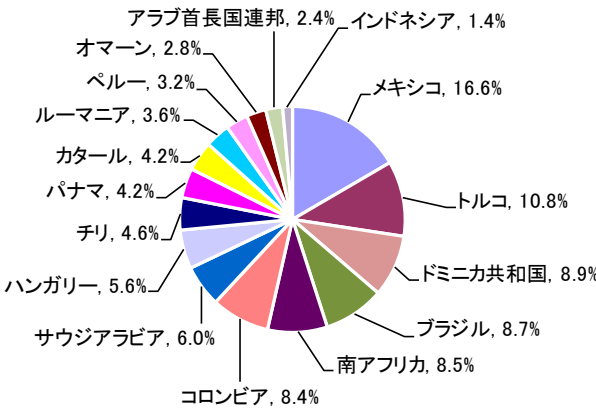
ポートフォリオ特性

最終利回り	6.57%
修正デュレーション	8.86(年)
組入銘柄数	28
種別構成比	
国債	90.5%
州債	0.0%
政府機関債	9.5%
合計	100.0%

格付別組入比率



国別組入比率



※上記は債券ポートフォリオにおけるものです。※修正デュレーション、最終利回りは、債券ポートフォリオにおける加重平均です。
※格付けについて、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

運用概況

日本円・コース

形態 = ケイマン籍オープン・エンド契約型外国投資信託/追加型
信託期間 = 2010年8月19日から2025年11月30日まで
決算日 = 毎年11月30日
収益分配 = ファンドは、現在、収益の分配を行わない方針です。

ファンドマネージャーからのコメント

＜投資環境＞

(債券市況)

米国債券市場では、強弱入り交じる経済指標の結果から金利は狭いレンジでの推移となり、中長期中心に小幅低下となりました。FRB(米国連邦準備制度理事会)は政策金利の据え置きを発表し、今年の物価見通しを引き上げましたが、政策金利見通しは据え置いたことなどから、金利への影響は限定的でした。

米ドル建て新興国債券のスプレッド(米国債との利回り格差)は縮小しました。投資家のリスク選好姿勢の改善などを背景に、特に低格付け国においてスプレッドが大きく縮小しました。

＜運用経過＞

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(以下、参考指数)を参考として、新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を目指した運用を行いました。国別アロケーションとしては、マクロ経済環境の動向や各国のファンダメンタルズなどを考慮して調整を行いました。

＜今後の見通し＞

米国では金融引き締め長期化によりインフレ率は鈍化傾向にありますが、底堅い個人消費や労働市場を背景に、そのスピードは緩やかであるため引き続き注視が必要です。ただし、高い利回りを求める向きからの買い需要も相応にあることが想定され、米国金利の上昇圧力は抑制されやすいとみています。

米ドル建て新興国債券に関しては、今後も相対的な金利の高さが、新興国債券市場を下支えすると考えています。新興国は、過去の通貨危機時に比べると、国際収支、外貨準備高などが改善した水準にあり、対外支払い弱性は低下しています。しかし、先進国に比べてリスク環境の悪化による悪影響を受けやすいため、中東情勢や天候不順などを背景としたインフレ再燃の懸念や中国の景気減速懸念などによる資金流出には注意を要します。

今後とも新興国を取り巻く環境に注意を払いつつ、国別での政治、経済、社会問題などを考慮して、国別アロケーションを決定していく方針です。

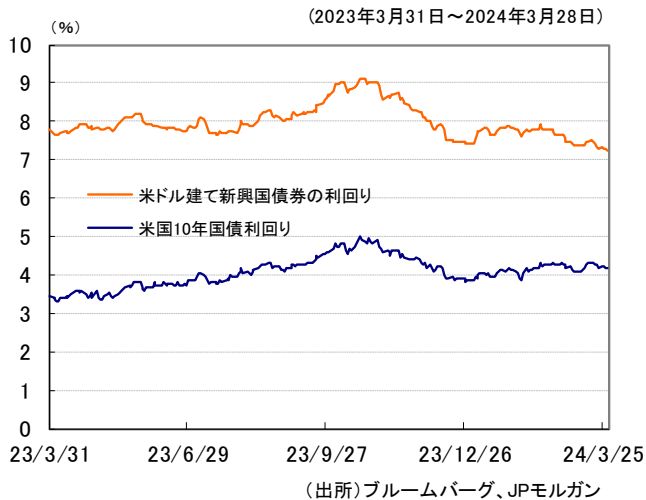
(ご参考)

【米ドル建て新興国債券の利回りの変化*】

	2月末	3月末
米ドル建て新興国債券の利回り	7.55%	7.24%

* JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスの利回りです。当指数は新興国債券市場の値動きを反映する代表的な指数のひとつです。

【米ドル建て新興国債券と米国10年国債の利回りの推移】

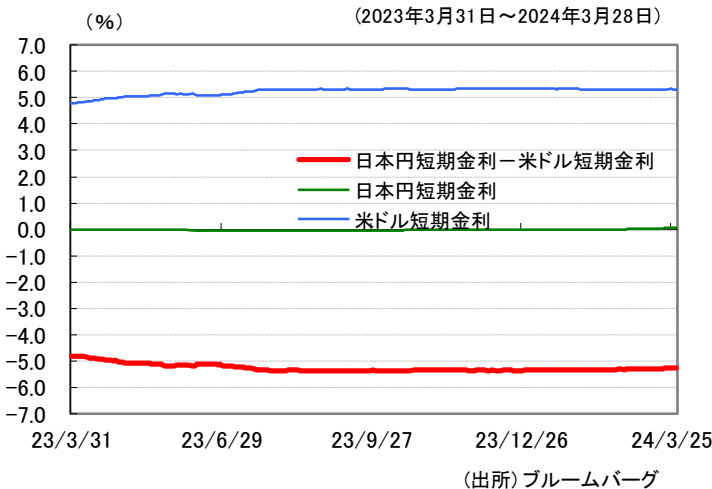


(ご参考)

【短期金利の環境(3月末時点)】

米ドルの短期金利	5.33%
日本円の短期金利	0.06%

【米ドルと日本円の短期金利差の推移】



※ファンドマネージャーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※米ドル建て新興国債券の利回りは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスの利回りを使用。

※米ドル建て新興国債券の利回りは変動します。利回りが保証されているものではありません。

※米ドル短期金利はCME Term SOFR1M、日本円短期金利はJPY Term RFR1Mを使用。

※CME Term SOFR1Mは、CME GROUPによりライセンス供与されている金利指標であり、著作権等の知的財産権、その他一切の権利はCME GROUPに帰属します。CME GROUPは、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスとは関係がなく、それを推奨、宣伝をするものではありません。また、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスに関わるデータの正確性・完全性等に関して一切の責任を負いません。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。